

はにわ通信



No. 181 平成 22 年 (2010 年) 4 月
発行：松阪市文化財センター Tel: 0598-26-7330
http://www.city.matsusaka.mie.jp/ (松阪市 HP)

【蛇亀橋遺跡の発掘調査】

平成 22 年 2 月から、嬉野島田町にある蛇亀橋遺跡^{じゃがめばし}で、発掘調査を実施しました。市道島田北 10 号線の建設に伴い、どうしても遺跡へ影響してしまう部分の記録保存が目的です。先日 3 月 20 日には現地説明会を開催し、歴史愛好家や地元の方など約 50 名にご参加いただきました。今回の「はにわ通信」では、蛇亀橋遺跡の調査成果を簡単にご紹介します。

そもそも蛇亀橋遺跡は、昭和 56 年に三重県により調査が行われ、縄文時代晩期（約 2500 年前）の遺跡として知られていました。ところが、今回の調査地内では縄文時代中期（約 6000 年前）の土器を中心とした、たくさんの遺物がみつかりました。特に、深鉢^{ふかばち}と呼ばれる土器の中に、口から底までほぼ復元できるほど、残りの良いものがありました。縄文土器でそこまで復元できるものは、そう多くなく、貴重な発見といえます。

みつかった生活の痕跡は、竪穴住居らしきものもありますが、無数の小穴が中心です。これらの穴は、柱穴であった可能性もあり、平地式住居を想像させます。平地式住居とは、平地に直接柱を立てる住居の建て方で、竪穴住居のように掘くぼめません。現在のところ断定するものではなく、あくまで「可能性がある」として留めておきます。これから成果をまとめていくなかで、様々な視点から検証をおこない、再度報告できればと思います。(担当)



蛇亀橋遺跡位置図



調査区全景

【郷土の夜明け <まつさか地域の縄文・弥生時代ってなに・・・>】

桜ちり 春のくれ行く 物思ひも 忘れぬべき 山吹の花 藤原俊成

(桜が散り春が過ぎていくことへのもの思いも、思わず忘れてしまいそうになるほど心にのこる山吹の花よ・・・)

桜が散った後の空白をうめるように咲く、山吹の花によせる平安時代の人々の思いに、私たちは今、文字の世界（和歌）で出会うことができます。

平成 22 年度が始まりました。

新しい年度の幕開けにふさわしく文化財センターでは、「教えます！！まつさかの歴史～縄文・弥生時代編～」と名づけ、まつさか地域の夜明けともいえる縄文・弥生時代の歴史に関する企画展（4 月 17 日～6 月 27 日）を行います。

これは、こどもから大人まで幅広い市民のみなさんに、親しみを持って郷土の歴史の始まりがわかっただけできるよう、この地域に残る縄文・弥生時代の遺構・遺物をもとに文字による記録がまだなかったこの時代の、「住まい」や「食べもの」、「衣服」などのファッションから「まつり」や「祈り」にいたるまでさまざまな角度から考えることで、当時の人々の思いやくらしにできるだけ近づいてみようという企画です。

実物の資料（遺物）だけでなく、復元した道具やジオラマなども使って、見て・触れて・体験できるものにしていきたいと考えていますのでご期待ください。(所長)

藤原俊成（ふじわらのとしなり「しゅんぜい」とも読む）平安時代後期～鎌倉時代初期の歌人

【文化財センター はにわ館・ギャラリー 4 月の催し物予定】

【はにわ館】 入館料 100 円 (18 歳以下無料。) 月曜日、祝日の翌日は休館です。

- 第 1 展示室 ・常設展「宝塚古墳の謎」
- 第 2 展示室 ・前期企画展「教えます！！まつさかの歴史～縄文・弥生時代編～」
4/17 (土)～6/27 (日)

【ギャラリー】 入場無料

- 第 1 ギャラリー ・NTT 0B 趣味の作品展 4/9 (金)～11 (日) 11 日は 15 時まで
・NPO 着物を着る習慣をつくる協議会『着物ビフォーアフター展』
4/22 (木)～25 (日) 25 日は 15 時まで
- 第 2 ギャラリー ・女子美術大学同窓会三重支部『ヴィーナスの風』展
4/6 (火)～11 (日) 11 日は 15 時まで
- 第 2・3 ギャラリー ・答礼人形『ミス三重と青い目の人形展』
4/29 (祝)～5/4 (火) 4 日は 16 時まで
- 第 1・2・3 ギャラリー ・第 7 回神戸・港・橋西・宇気郷・中川・中原・嬉野
公民館合同水墨画展 4/13 (火)～18 (日)
13 日は 13 時から、18 日は 16 時まで

開館時間：9 時から 17 時 (入館は 16 時 30 分まで)



バーコード読み取り
(文化財センター情報)